第287号

# 鳥取 YEG通信 12

TOTTORI YOUNG ENTREPRENEURS GROUP
YEG

発行：令和４年 12月15日
鳥取商工会議所青年部
広報委員会
鳥取商工会議所青年部通信

## ■令和４年度 会長あいさつ

鳥取商工会議所青年部
会長 平田 祐輔
有限会社 ヒラタ塗装工芸社

冬晴れが心地よい師走の候、本年もたくさんの感謝や反省など、ここまでの青年部活動を振り返る時期となりました。皆様におかれましては、ご活躍とご発展の一年かと拝察いたします。

未だ、コロナ感染者数に関しては増減を繰り返す状況は変わらず、引き続き行動制限や感染症対策を継続しながら皆様もお過ごしの事と存じます。

しかし私たちは単に繰り返しの状況を過ごしているのではなく、1年、2年と経験を重ねていく事で螺旋的発展の法則の様に前進と成長をしていると信じ活動しています。

10月21日(金)、22日(土)に「日本商工会議所青年部 第40回中国ブロック大会 廿日市大会」に参加してまいりました。

三年ぶりの通常開催となった今大会は工夫のされた感染症対策、今の時代にあった大会運営をされており参加したメンバーにとっても学び多き有意義な大会でした。

そして11月6日(日)には「日本遺産麒麟獅子舞フェスタ2022」が、とりぎん文化会館にて開催され、私たちも運営スタッフとして参加させていただきました。

当日は多くの来場者が訪れ、子どもたちが麒麟獅子と直接ふれあう場面では、麒麟獅子をなでてあげる子がいたり、頭を噛まれるという行為に怖くて泣いてしまう子がいたり、また我々青年部の縁日でも楽しんでもらえたりとても賑やかなイベントとなりました。

続いて11月9日(水)にはビジネス委員会主催による11月例会を「第一回YEG高校生ビジネスコンテスト」と題し鳥取市文化ホールにて開催いたしました。

鳥取城北高等学校様、青翔開智高等学校様にご協力いただき、当会所属メンバーの企業にある課題の解決をテーマとし、考えてきたビジネスプランを3グループに別れ発表していただきました。

どのグループのプランも良く考えられており、プレゼンも素晴らしく審査するのに大変悩まされました。社会で経営を行っている我々にとっても良い学びの場となりました。ご協力いただきました生徒はじめ学校関係者の皆様、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

続きまして11月11日(金)、12日(土)と[第40回全国会長研修会 笑売繁盛 喜多大阪大会」が枚方市で開催され、県連会長の荒田直前会長、次年度会長となる井上副会長、日本YEG出向理事の西川委員、事務局の尾崎さんと参加してまいりました。全国の会長様と色々な話をさせていただき学ぶべき事の多さを感じる大会でした。

本年も多くの活動の中でご理解、ご協力いただきました皆様ありがとうございました。来年も豊かで住みよい郷土づくりに貢献できる活動を行ってまいりたいと思いますので、引き続きご支援ご厚情を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 令和４年度11月例会 鳥取YEG高校生ビジネスコンテスト

この度、ビジネス委員会は、令和４年度11月例会にて「鳥取YEG高校生ビジネスコンテスト」を開催致しました。鳥取の未来の経済界を盛り上げるため、「若き青年経済人の育成」をテーマに、鳥取市内にある鳥取城北高校から2チーム、青翔開智高校から1チームが参加し、熱戦を繰り広げました。鳥取YEGとして、学生向けのビジネスコンテストを開催するのは初めての試みで、試行錯誤の中での取組でしたが、学生の方々の前向きな姿勢と若いパワーに支えられ、会員の皆様にも刺激的な例会になったのではないかと考えています。3チームそれぞれが提案した商品開発、サービス等の事業展開も担当したそれぞれの企業において進んでいる模様で、既に新たなビジネスが生まれています。今回参加して頂いた高校、企業からは次回以降を楽しみにしているとの声を頂戴しており、今回の経験を活かし、次年度以降、より多くの高校、企業を募り、規模を拡大して開催して頂けると幸いです。

ビジネス委員会　委員長　西川 朋宏

学生プレゼン

結果発表





## 日本商工会議所青年部 第40回中国ブロック大会廿日市大会

10月21日(金)・22日(土)に広島県廿日市にて「日本商工会議所青年部　第40回中国ブロック大会廿日市大会」が開催されました。

鳥取YEGからは、現地参加25名、リモート参加7名の合計32名で参加させていただきました。

3年ぶりの通常開催となった今年度の中国ブロック大会は、過去2年間新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催を余儀なくされていた「井原大会」と「倉吉大会」の想いを引き継いだ素晴らしい大会となりました。

我々鳥取YEGに関しても大型バスを貸し切っての移動を行い、久しくできていなかった会員同士の交流と絆を深めれる良い機会となりました。

21日(金)は、役員会・委員会・会員総会・会長会議や、日本三景宮島のある廿日市市ならでは、宮島散策と宮島ブルワリー見学、牡蠣の水揚げとボートレース宮島の見学など多くの魅力ある分科会に参加させていただきました。

22日(土)は、記念講演・記念式典・大懇親会が開催され、式典では役員として登壇させていただき、そこでの事前準備やリハーサルの入念さに驚きと感動を覚え、私個人にとっても学びの多い大会となりました。

次年度の中国ブロック大会は、山口県「柳井大会」で開催されます。こちらに関しても引き続き多くの会員の皆様と参加できればと思います。

我々鳥取YEGでは次年度「創立45周年記念大会」が開催されます。

大会が素晴らしいものになるように、今回の廿日市大会で学んだ経験を活かし、次年度卒会者として最後の御恩返しを行えればと思います。

直前会長　荒田 潤之介

会場の様子

## 2022日本遺産 麒麟獅子舞フェスタ

11月6日（日）に「麒麟獅子舞フェスタ2022　～因幡の地で麒麟が舞う～」がとりぎん文化会館で開催されました。

今回のフェスタでは麒麟獅子舞の保存、継承、認知度向上、そして子供たちに興味を持ってもらい担い手の育成に繋げることを目的とし、麒麟獅子舞の会を中心とした実行委員会が立ち上がり、昨年より準備を進めて参りました。

麒麟獅子舞は令和元年5月に日本遺産に認定され、令和2年3月には「因幡・但馬の麒麟獅子舞」が保護団体の規模が最大級となる国重要無形民俗文化財に指定されております。

始まりは、今から370年前、鳥取藩初代藩主池田光仲が、鳥取東照宮を建設した際に権現際の神幸行列で行われたのが始まりと言われ、その舞や作法など、神社ごとに異なる個性と形態を生みながら、この地に広がり受け継がれてきた独特の伝統文化です。

小ホールでの麒麟獅子舞の演舞、パネルディスカッションが行われ、イベントホールでは1市6町のPRブースや紙芝居などがあり、我々鳥取青年部では主にフリースペースでのふれあいコーナーにてこども縁日等の担当をしました。

当初心配されていた集客の面も想定以上の約2000名もの方が来場され常に順番待ちのコーナーもあり大変賑やかな一日となりました。

純粋に麒麟獅子を見に来られた方や、獅子を見て泣いてしまう子や、猩々と戯れる子、麒麟獅子舞をやってみたいという子など、このフェスタを通じ魅力を伝えられたのかなと感じるとともに、今後も次の世代への文化の伝承となる活動を引き続き行っていければと思います。

副会長　井上 直樹

集合写真

麒麟獅子舞い

## 交代会員

大石 敦司 君
（おおいしあつし）
事業所名 鳥取瓦斯㈱
所属委員会 鳥取イズム委員会

## 新入会員

塩河 桂太 君
（しおかわ けいた）
事業所名 ダイキンHVACソリューション中四国㈱鳥取営業所
所属委員会 45周年準備委員会

信岡 宜暁 君
（のぶおか よしあき）
事業所名 アイコンヤマト㈱
所属委員会 45周年準備委員会